

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.31】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声をお届けしていきます。



2人家族のモニターです。

ごみの減量化や食品ロス削減のための取り組みについて質問したところ、買いためをせずに買い物の回数をこまめにすることで、フードロスを削減するように心がけているそうです。

また、生ごみ処理機を使用するようになってからは、可燃ごみに限らず他のごみに対する意識も高まり、全体的な排出量の削減に繋がっていることに加えて、余計なものは購入しないようになったそうです。

年末年始の使用状況については、刺身や鍋をする機会があり、ツマや野菜などの生ごみが多く出たことに伴い、処理機の稼働率が上がったそうです。

機器の使用状況については、ソフトモードでを使用した場合は、通常モードと比較すると、乾燥後の臭いが若干気になるそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声を参考にして生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp